

健康に関する情報をお届けします

元気



しん子

子育ては「親育て・自分育て」

子育て中のお母さん、お父さん、「親になること」をどんな風に考えていますか？子どもは、みんな親の愛情をいっぱい受けたいと願って生まれてきます。しかし、そ

の子どもの思いを受け止めきれず、怒ったり、悩んだりしていませんか。特に1〜3歳の子どもは、

「自分でやってみよう」という気持ち芽生えます。できないことや危ないことなどをお構いなしにチャレンジしたがる時期で、対応に困ることもあります。そんな時は「だ

めでしょ！」と、感情的に怒鳴ってしまうこともあるかもしれません。しかし、感情で怒られた経験を重ねていくと、子どもは自分に自信が持てなくなり、情緒不安になることがあります。

子どもとともにゆっくり親として成長しましょう

子どもの心を育むためには、感情で怒るのではなく、親自身が自分の心をコントロールする力を育てていくこ

とが必要になります。それゆえ子育ては、親自身が親として自分を育てる機会なのかもしれません。

親子関係は、一生継続くものです。そして、子どもの年齢が親年齢です。子どもとゆったり向き合い、子どもとともに怒ったり、笑ったり、楽しんだりして、親として心を大きく成長させ、親年齢を重ねていきたいものですね。

保健センター ☎67◆1151

みんな考えてまい！

蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



「まちづくり」って市役所の人考えるの？

今まではそうだったがな、でも、まちは住んでいる者が考えんといかんのじゃ。住んどの地区の特性だつてあるしな。だで、今回は「蒲郡をこんなまちにしたらい」あんなまちになつたら



みかん仙人 すなメリー

…っと思つとる者が集まつて、各地区ごとに話しあつとるんじゃ。これを「住民会議」って呼んどのんじゃが、大塚から西浦までの7つの地区で、市民と役所の若い職員が一緒に「どうなつたら蒲郡がもつと住み良くなるか」っと話しあつとるんじゃ。



へえ。その住民会議で、どんなことが話されたの？

この住民会議が、市民と市と一緒になつてまちづくりをやつていく「協働のまちづくり」の第一歩となるじゃろう。

去年の11月26日から30日に第1回目の会議が行われたんじゃが、そんなときは、役所だけじゃ分からん、住んどのまちの「いいトコ・わるいトコ」の、いろんな意見が出たぞん。例えば、形原・西浦地区じゃが、「景色、特に海

がいいぞん」と言う者が多くてな、「ブルーブリッジの初日の出は特にすごい」っと言つとつたぞん。

一方じゃ、道路などの基盤整備が遅れるという意見が多かつたのん。よくも悪くも道路は「狭い」の一言に尽きるようじゃ。早く道路ができて、下水も整備されるといいんじゃがなあ。

ほいじゃあ、次回は、ほかんどこの話をするでのん。

計画開発課 ☎66◆1142